



都レンジャー NEWS

小笠原版

Vol. 11
2011. 3発行

小笠原の鳥知っていますか？

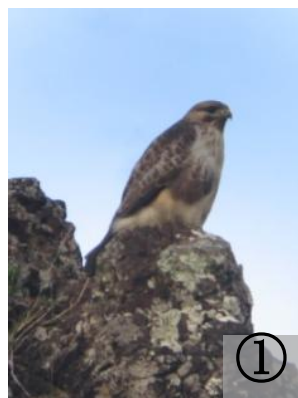
今回は、少し趣向を変えて皆さんにクイズを出したいと思います。

この写真の8種の他に、最近定着したトラツグミを入れると計9種が小笠原諸島の留鳥です。

さて、みなさんは何種類わかりましたか？

正解は下の段をご覧ください！

※留鳥とは、1年間を通して同じ場所に生息し季節による移動をしない鳥のことです。



①



②



③



④



⑤



⑥



⑦



⑧

正解は ①オガサワラフノスリ、②オガサワラヒヨドリ、③ハシナガウグイス、④メジロ、⑤ハハジマメグロ、⑥アカガシラカラスバト、⑦オガサワラカワラヒワ、⑧イソヒヨドリです。
この中で、環境省レッドデータブック(絶滅のおそれのある野生生物)に指定されている種が4種あります。その内、オガサワラフノスリ、アカガシラカラスバト、オガサワラカワラヒワの3種は絶滅危惧I B類 EN(近い将来における絶滅の危険性が高いもの)に指定されています。



オガサワラカワラヒワ 前:メス 後:オス (2008年7月母島元地撮影)

オガサワラカワラヒワは現在、母島列島と南硫黄島でしか確認されていません。また、1年中母島島内にいるわけではなく、母島属島と母島を行き来しているため、見かけることが少ない種となっています。一説によるとアカガシラカラスバトよりも絶滅の可能性が高いとも言われており、今後の生息状況が気になるところです。
母島島内では夏に訪れることが多いようです。植物の種子を主に食べるため、畑などでも見かけることがあります。
もし見かけたら、都レンジャーにご一報ください。